

令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和6年度の振り返りと令和8年度 of 取組検討）

施策No	313		
施策名	感染症対策の推進		
関係課	健康増進課、消防本部総務課、産業政策課、いきいき高齢課、介護保険課、障がい福祉課、こども課、保育課、学校教育課		

1. 進行管理

(1) 指標の実績・考察と目標年度（令和7年度）の目標値達成見込み

	指標	単位	実績基準値	実績値					見込値	目標値	最終年度（R7）の 目標値達成見込	R6年度の実績説明・考察 及びR7目標値達成見込判断の理由
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7			
a	感染症対策に取り組む市民の割合	%	－			95.8	91.4	87.7	90.0	100	④現在の想定では目標達成が困難	新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月8日から感染症法上の位置付けが5類になり、感染症予防対策は、個人の判断になったため、感染症対策に取り組む市民の割合が下がってきていると思われる。
b	新型コロナウイルス感染症ワクチン接種率	%	－			85.8	83.9	－	－	80.0		新型コロナウイルスワクチンが定期予防接種になったため、評価できない。
c												
d												

(2) 構成する事務事業の昨年度（令和6年度）の取組結果 ※効果が上がった、下がったの判定は、事業効果を説明する指標のR5との比較となります。										
①施策関連区分A（実施計画事業）										
【効果が上がった事業】							事業費（単位：千円）			
No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	効果説明

【効果が下がった事業】							事業費（単位：千円）			
No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	効果説明
1	新型コロナウイルス感染症等対策事業	感染症対策に取り組む市民の割合	%	95.8	91.4	87.7	65,347	4,505	222	令和5年度と比べて、8月、9月の感染者数が、減少した。
3	任意予防接種事業	インフルエンザ予防接種助成数	人	7,843	6,986	6,679	17,162	15,794	71,373	接種率は、インフルエンザ33.0%、おたふくかぜ29.2%、帯状疱疹1.7%であった。
		おたふくかぜ予防接種助成数	人	－	－	1,178				
		帯状疱疹予防接種助成数	人	－	－	1,933				

②施策関連区分B（実施計画事業以外）							事業費（単位：千円）			
【効果が上がった事業】							事業費（単位：千円）			
No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	効果説明

【効果が下がった事業】							事業費（単位：千円）			
No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	効果説明
5	定期予防接種事業	1歳児（MR）の接種率	%	92.7	96.2	98.9	286,421	296,751	605,136	MR1期、MR2期ともに接種率は90%以上、高齢者インフルエンザは50%以上の接種率となっている。
		年長児（MR）の接種率	%	93.5	92.5	90.8				
		高齢者インフルエンザ予防接種接種率	%	56.7	53.2	50.0				

(3) 基本方針の取組状況										
①特に実績をあげている取組（計画初年度(令和4年度)以降の取組状況）										
②未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）										
特になし							特になし			

(4) 令和6年度行政経営方針の取組状況										
①令和6年度行政経営方針										
②令和6年度行政経営方針の取組状況										
・国・県の動向を注視し、新型コロナウイルス感染症等、各種感染症の拡大防止を図る。 ・市ホームページなどを活用し、市民などに対して、感染症対策に関する情報を周知する。 ・佐野市医師会等と連携して、国の方針に応じた新型コロナウイルスワクチンの接種体制を確保する。 ・定期及び任意の予防接種について、医療機関と連携し、接種を実施する体制を維持し、接種対象者に対しては、様々な方法で周知を図る。 ・佐野市医師会等との情報交換などを通して、様々な感染症に対処できる体制整備を図る。							・毎週、県の感染状況をチェックし、感染拡大があるものについては、市のホームページなどで周知し、感染症対策についても状況に併せて情報発信している。 ・新型コロナウイルスワクチン接種は、10月から定期予防接種となり、佐野市医師会と協議して接種体制を整えている。その他の定期予防接種及び任意予防接種についても、同様の体制である。接種対象者には、勧奨通知を出したり、市ホームページ、広報等で周知したりしている。 ・佐野市医師会とは、予防接種の変更などがあるたびに相談し、連携している。			

2. 課題と次年度（令和8年度）の取組										
(1) 課題<環境変化や関係者の意見、要望等を踏まえて>										
(2) 課題に対する今年度（令和7年度）内の取組状況、予定										
(3) 次年度（令和8年度）の取組（案）										
①感染症対策物資の備蓄のあり方・方向性の検討（令和6年度より検討結果に基づく備蓄を開始） ②「新型コロナウイルス等対策行動計画」の改定と新型コロナウイルス等対策の継続実施 ③感染症対策に取り組む市民の割合の向上を目的とした普及・啓発活動の強化 ④定期予防接種と任意予防接種の円滑な接種体制の維持及び予診票のデジタル化と、疾病予防に効果的な新しい任意接種のあり方の検討				①感染症拡大時の備え、感染症対策物資を継続して備蓄する。 ②佐野市新型コロナウイルス等対策行動計画を改定する。また、新たな感染症の発生時や感染拡大時に迅速に対応できるよう、佐野市医師会等と連携を図る。 ③国や県の感染状況を注視し、その都度必要な情報収集を行うとともに、必要に応じて市のホームページやSNSなどを活用し、市民に対する感染症対策の周知を行う。 ④予防接種の対象者が、予防接種の必要性を理解し、接種時期を把握できるよう、適宜周知を行うとともに、希望する予防接種が円滑に接種できるよう、佐野市医師会等と連携を図る。 ・予診票のデジタル化に向け、医療機関の協力により3医療機関で1種類の予防接種について試行的に導入中であるが、今年度は予防接種を2種類とする。				①感染症対策物資の備蓄管理。 ②佐野市新型コロナウイルス等対策行動計画改定版を元に、佐野市新型コロナウイルス等対策ガイドラインを改定する。また、新たな感染症の発生時や感染拡大時に迅速に対応できるよう、佐野市医師会等と連携を図る。 ③様々な感染症における全国的な広がりや県内の発生状況を注視し、その都度必要な情報収集を行うとともに、市のホームページやSNSなどを活用するほか、健康まつりなど各種イベント時によるチラシ配付などの機会を捉えて、市民に対する感染症対策の周知を強化する。 ④デジタル予診票の導入可能な予防接種の種類を増やし、利便性の向上を図るとともに、新たな任意予防接種の内容について検討する。 * 施策311「心と体の健康づくりの推進」と統合し、健康づくりの一環として取り組んでいく。		